

④ めまた 市議会だより

第50号

6月定例会

平成30年
8月1日



県立沼田高等学校



主な内容

- P2～3 6月定例会
- P4～9 一般質問
- P10 行政調査報告

県立沼田女子高等学校

6月 定例会

6月定例会は、6月8日に開会し、6月20日までの13日間、市当局からの12件の報告、平成30年度補正予算、条例の改正、建築工事請負契約の締結、監査委員の選任同意など計20件と、議会からの請願及び議案2件を審議しました。また、12人の議員が一般質問を行い、市当局と活発な議論を展開しました。

専決処分報告など 12件の報告を審議

沼田市福祉医療費支給に関する条例の一部を改正する条例などの条例改正4件、平成29年度補正予算4件、平成30年度一般会計補正予算の9件の専決処分報告など、併せて12件の報告を受け、審議しました。

条例改正は、国の法律改正で、4月1日施行されたものに関連する市条例の一部改正で、関連条文の整備を行ったものです。

平成29年度補正予算は、一般会計、特別会計の補正で、交付金の決定や、事業費の確定に伴う財源の変更など、3億8,122万9,000円の減額です。

平成30年度一般会計補正予算は、市議会議員補欠選挙の執行に伴うもので、2,422万円の増額です。

谷地端団地建築工事 請負契約を議決

5月22日に行われた一般競争入札で、2億4,408万円で、株式会社沼建が落札、同日付で仮契約が行われた谷地端団地建築工事請負契約の締結について議決しました。

工事は、老朽化により解体した谷地端団地の跡地に新たな市営住宅を建設するもので、木造2階建てを2棟建設。延べ面積は、A棟約500平方メートル、B棟約487平方メートルで、戸数は、2棟合わせて1LDK10戸、2LDK4戸、3LDK2戸の16戸が計画されています。

平成30年度 一般会計補正予算

制度改正や緊急性のあるものなどで、コミュニティ助成金の追加、国際交流員設置事業の計

常任委員会

沼高・沼女同窓会からの高校再編整備についての請願 審査の結果、採択

6月15日、総務文教常任委員会が開催され、沼田高校及び沼田女子高校同窓会連名による『高校教育改革推進計画における沼田利根地区高等学校再編整備計画の早期策定についての請願書』を審査しました。審査の結果、全会一致で採択すべきものと決定し、6月20日の本会議で採択。県知事、県教育長への意見書の提出を決定しました。

意見書は、少子化や利根沼田地域外への生徒流出が深刻化する中において、利根沼田地域に進学校としての拠点校を整備する必要があると認識のもと、

上、乗合バス再編事業の追加、市長選挙費及び市議会議員補欠選挙費の減額、強い農業づくり交付金等交付事業の減額、中山間所得向上支援対策事業の計上、竹林整備促進事業の追加など、4,269万2,000円の減額です。

両校同窓会が高校再編に向かつて新たな一歩を踏み出すことを決議したことを踏まえ、議会もこの決議及び請願を受け、統合再編による高いレベルの進学を目指す魅力ある中核校整備を盛り込んだ沼田利根地区高等学校再編整備計画を早期策定するよう県教育委員会等に要望するものです。

県立高校再編整備の状況

- 富岡・甘楽地区
平成30年「富岡高校」開校
- 吾妻地区
(富岡高校・富岡東高校)
- 吾妻地区
平成30年「吾妻中央高校」開校
- (中之条高校・吾妻高校)
- 桐生・みどり地区
平成33年新高校2校開校予定
- (桐生高校・桐生女子高校)
- (桐生南高校・桐生西高校)

人事の同意

市監査委員の選任

- 金井章二 (再任)
- 角田世司 (再任)
- 藤井巧 (再任)
- 真庭拓郎 (再任)
- 茂木恵理子

人権擁護委員の推薦

- 角田世司 (再任)
- 藤井巧 (再任)
- 真庭拓郎 (再任)
- 茂木恵理子

市議会だより第50号発行によせて



第30号



創刊号



第40号



第10号



第49号



第20号

沼田市における議会だより発行の契機は、「議会便り発行に関する請願書」が平成16年2月に議会へ提出され、趣旨採択となったことから始まりました。議会各会派から代表委員を選出し「議会報に関する研究会」を組織して、発行へ向けた様々な課題が話し合われました。その課程では、「発行しても読んでもらえるのか」「効果的な方法は議会報だけか」「費用や議会事務局への負担をどう克服していくか」などが出されてきたと記憶しています。

結果として、一般質問については客観性と公平性を重要視し、質問内容も当局答弁も1回目の質問答弁を編集して掲載していくことになりました。また、費用を抑制するため、2色刷りとして、議会自らで編集作業を行いました。行い、事務局への負担を極力軽減していくことになりました。「まず創刊」を基本に、合意された様々なルールによって、発行される内容は、若干欠けるものとならざるを得ませんでした。それでも当時は、議会だより発行を契機に、議会への関心度が高まるスタートとなると思いつつ、編集作業に取り組みました。新体制へ期待！

新体制となった現在では、議会だよりの体裁も一新され、発行そのものが主目的だった内容から、「読んでもらえる」議会だよりへ飛躍していただけです。以上の喜びはありません。

前編集委員長 高柳 勝巳

平成30年第2回市議会6月定例会賛否状況

種別	番号	議案等名	結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
				戸部博	永井敏博	桑原敏彦	茂木清七	中村浩二	坂庭直治	星野妙子	金子浩隆	井上勝弘	高柳勝巳	高山敏一	野村洋一	久保健二	小野要二	大東宣之	井之川博幸	大島崇行	大竹政雄	星野稔・議長	星野佐善太
報告	第1号	専決処分報告について（沼田市福祉医療費支給に関する条例の一部を改正する条例について）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第2号	専決処分報告について（沼田市税条例の一部を改正する条例について）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第3号	専決処分報告について（沼田市都市計画税条例の一部を改正する条例について）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第4号	専決処分報告について（沼田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第5号	専決処分報告について（平成29年度沼田市一般会計補正予算（第6号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第6号	専決処分報告について（平成29年度沼田市国民健康保険特別会計補正予算（第5号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第7号	専決処分報告について（平成29年度沼田市介護保険特別会計補正予算（第4号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第8号	専決処分報告について（平成29年度沼田市電気事業特別会計補正予算（第3号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第9号	専決処分報告について（平成30年度沼田市一般会計補正予算（第1号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	第45号	谷地端団地建築工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第46号	沼田市税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第47号	沼田市都市計画税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第48号	沼田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第49号	沼田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第50号	平成30年度沼田市一般会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問	第51号	沼田市監査委員選任の同意について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第52号	高校教育改革推進計画における沼田利根地区高等学校再編整備計画の早期策定を求める意見書案について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第1号	人権擁護委員の推薦について	異議なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	第3号	高校教育改革推進計画における沼田利根地区高等学校再編整備計画の早期策定についての請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■各記号の見方 ○…賛成の者、×…賛成でない者

一般質問

将来に希望を抱ける市民が輝くまちづくり！

中村 浩二

【Q】市長の再選による2期目の目標について伺います。

【A】1期目で手がけたテラス沼田の改修や社会体育施設の整備など、着手した事業を進展させるとともに、少子・高齢化を見据え、今後はハード・ソフト両面での施策に取り組みたいと考えています。

【Q】今後の沼田市をどのように活性化させるのか伺います。

【A】地域資源を活かした農林水産業の振興と商工業の振興により雇用の安定を図るとともに、本市の魅力ある資源を活かした観光振興に取り組み、地域の活性化を図りたいと考えています。

【Q】決断と実行で掲げた公約をどのように推進するのか伺います。

【A】「スマートウェルネスシティぬまた」、「安心、安全 人にやさしい福祉のまちづくり」、「地域産業の振興による雇用の創出」、「農林業の活性化・ブランド化」、「観光振興の推進」、「女性の参画の拡大と子育て・教育



拡幅改良工事後の市道万部鍛冶屋2号線

の充実」、「財政の健全化と未来志向の地方自治の実践」の7項目を市民の皆様と連携、協働のもと「オール沼田」で取り組みたいと考えています。

【Q】地域・地区及び各種団体からの陳情や要望等の優先順位について伺います。

【A】所管課において緊急性の有無や早期に対応が可能なもの、予算措置が必要なものなどを考慮しながら優先順位を定めて対応しています。

沼田市の人口減少問題について

桑原 敏彦

【Q】大量インフラ整備に対応するための担い手育成について伺います。

【A】建設・土木業界における技能労働者の高齢化と担い手不足に対する対策も、今後想定されるインフラ整備に向け、急務であると認識しています。現在、管内の5つの高校と協力し、高校生の地元企業就職を目的とした「高校生のための企業ガイダンス」をハローワーク沼田と連携して開催し、引き続き国、県とも連携し、技能労働職の確保と生産年齢人口の流出抑制に努めたいと考えています。

【Q】労働人口減少に伴い企業が導入する省力化機材等の支援について伺います。

【A】本年5月に成立した「生産性向上特別措置法」は、中小企業者が労働生産性向上に必要な機械装置や設備などの減価償却資産の設備投資を支援するもので、今後、「導入促進基本計画」を策定し、省力化機材等の導入に対



破碎瓦（シャモット）の利用

する支援を推進したいと考えています。

【Q】人口減少時の新たな産業を生み出す取り組みについて伺います。

【A】市内経済の活性化や雇用の創出を図るため、「ぬまた起業塾」を開講しています。卒業生は3年間で50人を超え、廃バッテリーを利用し電線からの電気供給なしに電気を使用した生活ができるシステム「沼田オフグリッドモデル」の構築や、水道管の埋め戻し材に破碎瓦を利用する研究など、新たな産業に繋がる起業に多いに期待しています。

市政を問う!!

市政2期目ハードからソフトへ路線変更内容

星野 妙子

【Q】この4年間はハード事業に特筆ソフト事業への取り組みの意欲がみられませんでした。ハードとソフトはバランスが整っていないかならぬと思いません。ハードからソフトへ路線変更する内容について伺います。

【A】1期目は庁舎等複合施設「テラス沼田」整備、市民体育館改修、(仮称)利南運動広場整備などのハード事業を進めてきましたが、今後は市民の健康寿命延伸、海外販路促進やインバンド推進に取り組みます。

【Q】少子化対策のひとつとして、女性やカップルが「妊娠・出産・育児・子育て」を人生設計として描けるよう「妊娠・出産」の医学的適齢期について正しい基本知識と情報を行政側から広める啓発活動について伺います。

【A】若い世代のライフデザイン構築となる冊子を成人式で配布しています。中学生・高校生対象の講座においても将来の多様な選択肢について啓発できるように

努めます。

【Q】子どもの遊び場の充実、知育玩具の整備について伺います。

【A】子育て世代のニーズを考慮し、発育に応じた能力を培うことが出来る子どもの遊び場充実に向け研究します。テラス沼田に設置する「子ども広場」の遊具については利用者の要望を聴きながら検討しています。

【Q】ゴミステーションのガラス被害対応について伺います。

【A】市内ゴミステーションは各行政区で適切に管理しています。ごみの排出時間や分別などの徹底をお願いするとともに網の設置経費は助成を行っています。

【Q】空き地が適正に管理されず不良状態になり、雑草繁茂や害虫発生、蜂の巣など環境衛生が阻害されています。空き地対応について伺います。

【A】沼田市くらしの環境美化条例を制定し、所有者に対し条例に基づき草木の伐採や蜂の巣駆除など管理指導を行っています。

子育て支援・経済負担の軽減について

茂木 清七

【Q】国は「幼児教育無償化」制度について、2019年10月からの導入を決定しました。対象となる年齢は「3歳児〜5歳児」で両親の所得に関係なく全ての児童に適用されるようです。対象施設も公立・私立問わず全ての幼稚園・保育園・認定こども園が対象となる予定です。10月という年度途中ではなく、年度初めの4月から検討してはと考えるが、市長の考えを伺います。

【A】子育て世代の経済負担の軽減は喫緊の課題であり、本市では、現在、第3子以降の保育料の無料化、母子世帯等の軽減範囲の拡大により、保育料を国の基準より低く設定していますが、国の動向を注視しながら前向きに検討したいと考えています。

【Q】沼田市における観光推進についてですが、収穫体験のできる観光農園、市内では夏祭りや今後は盛り上がりを見せる季節になってきます。農村地域における賑わいもほしいところであり

ます。農村地域の人々との交流を目的とした農泊の活用をどのように考えているのか伺います。

【A】本市においても「明るい多那地域をつくる会」が、農泊推進に取り組んでいます。利根沼田広域での連携も考慮し、農泊の研究をしたいと考えています。

【Q】老神温泉の活用と観光業を担う人達との連携、群馬DC、観光協会アンバサダーの元光GENJーの佐藤さんの活用について伺います。

【A】周遊観光の推進を図れるよう観光業者と連携し、進めたいと考えています。佐藤さんの活用については、観光協会と連携し、研究したいと考えています。



一般質問

子供たちが安心・安全に学べる学校環境を

井上 弘

【Q】防火シャッターによる事故が全国で度々起こっていますが、本市の公共施設における防火シャッターの危害防止機能の状況と安全確保に向けてどのように取り組んでいくのか伺います。

【A】防火シャッターの危害防止機能は、人命にかかわることでありますので、機会を捉えて利用者の安全が確保できるよう適切に対応したいと考えています。

【Q】文部科学省からの再三の通知や、多くの学校での事故事例がある中で、小中学校・社会教育施設における防火シャッターの危害防止機能の状況と安全確保に向けてどのように取り組んでいくのか教育長に伺います。

【A】防火シャッターは、小学校8校に39枚、中学校5校に42枚、市立図書館に13枚が設置されています。危害防止装置設置状況は、本年度の点検業務の際に調査を予定しています。

【Q】小中学校における普通教室の室温調査等の必要性について、

教育長の考えを伺います。

【A】子供たちが学ぶ教室環境が、気温や湿度等の観点から適正な状況であることは、子供たちの安心した学びを保障する要因の1つであると考えています。

特に、夏季については、子供たちの熱中症が心配され、教室内の温度や湿度の調査、環境への対応とあわせて、水分補給など、子供たちが健康を維持管理できるように、指導を進めていく必要もあると考えています。

※その他の質問

いじめの早期発見の取り組み、自殺予防の取り組みについて、旧利根西小学校解体に伴うさよならイベント等の開催など



2期目の市政運営、公共交通、健康づくり

大東 宣之

【Q】2期目の市政運営にあたっての目標についてどのように考えているのか伺います。

【A】少子・高齢化や人口減少社会を見据えた持続可能な行政運営を進めるため、第六次総合計画の将来像「こころ豊かに暮らし、しあわせを実感できるまち 沼田」を目指して、『もの豊かさよりもこころの豊かさ』を大切に、一人ひとりが輝くまちづくりを市民の皆さまと連携、協働のもと「オール沼田」で取り組みたいと考えています。

【Q】デマンドバス、乗り合いタクシー等の導入についてどのように考えているのか伺います。

【A】平成25年度から平成27年度までの3年間、高崎経済大学と連携し、デマンド運行のメリット、デメリットを整理し、デマンド運行導入の可能性について検討を行いました。

導入においては予約システムやオペレーター配置が必要となるなど、課題も多いことから、

引き続き検討したいと考えています。

【Q】「健幸」にむけどのように取り組むのか伺います。

【A】健康の「康」の文字を「幸」で表す「健幸」は、身体面の健康だけでなく、市民が生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活が送れることであると考えています。具体的には、生活習慣病予防、認知症予防など、健康寿命の延伸に向け、「スマートウエルネス推進事業」でウォーキングを取り入れた健康づくりを展開したいと考えています。



市内を巡る路線バス

市政を問う!!

養育費の支払確保に対する支援ほか

高山 敏也

◎地域包括ケアシステムにおける地域との連携や協働体制について伺います。

▲地域包括ケアシステムは、高齢になり要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられることを目指しています。お互いさまのまちづくりは、地域包括支援センターと在宅介護支援センターがコーディネーターとして関わりながら、地域住民による勉強会を行い、地域の課題を地域で考える協議体の設置を推進しています。

◎スマートウェルネスをめだの庁内や地域との連携・協働体制について伺います。

▲庁内推進委員会を設置し、市民へのウォーキングの推奨、中心市街地の活性化やウォーキングコースの整備など、総合的なまちづくりとして研究を進めます。また、「スマートウェルネスめだまた推進員」として保健推進員に地域で普及啓発に協力いただきます。毎月の活動量計の

データ取り込みは、面談により健康相談や情報提供の良い機会としたいと考えています。

◎離婚家庭における養育費の支払確保に対する支援について、明石市の事例から、離婚・養育費に関するパンフレットの作成・配布、離婚講座開設、相談の充実、支払確保の具体的支援などについて伺います。

▲養育費は、離婚によるひとり親家庭を経済的に支えるものとして重要であると認識しています。児童扶養手当受給資格更新時の面談で養育費の支払い状況等について聞き取りや個別相談に応じ、養育費相談支援センター、法テラスなどの紹介も行っています。明石市の事例は、参考にします。



法務省パンフレット

しあわせを実感できるまち 沼田

久保 健二

◎「しあわせを実感できるまち」とはどのようなものを思い描き、実現しようとしているのか伺います。

▲沼田市第六次総合計画では、まちづくりの将来像を「こころ豊かに暮らし、しあわせを実感できるまち 沼田」とし、本市が持つ豊かな自然環境や先人たちが築いてきた歴史や文化に再び目を向け、住む人にとっても、また、訪れる人にとっても居心地のよいまちづくりを進め、若者や高齢者が住みたいと思えるまち沼田を目指して取り組みたいと考えています。

◎市民の「しあわせの実感」をどのように測るのか伺います。

▲測る方法のひとつとしてブータンで取り組んでいる幸福度調査などがあり、「幸福度」の導入については、各国での取り組みにとどまらず、都道府県や市町村においても指標を作成するなど広がりを見せています。今後、本市においても、「幸福度」の導



入について研究したいと考えています。

◎本市も「幸福度調査」をおこなうべきではないか伺います。

▲住民の満足度を「幸福度」で測ろうという考え方は、全国的にも注目されてきていますので研究したいと考えています。

◎「住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合（通称・幸せリーグ）」に加盟し、市民の主観的評価を施策等への反映に取り組みべきではないか伺います。

▲今後、幸せリーグの取り組みや全国の動向を注視しながら研究したいと考えています。

一般質問

人口減少時代の財政と公共施設、高校再編

金子 浩隆

Q市長は「人口減少を止めることはできないが、来年テラス沼田が完成すれば、路線価が上昇し、固定資産税収入が増えることに期待する」と発言されましたが、この発言は「増税」を想起させ、一部の事業者に特別な利益をもたらしたり、市場に不公平な影響を及ぼすのではないのでしょうか。

A市税収入が減っている要因のひとつに、固定資産税の減収があることから、地価下落を止めなければなりません。来年のテラス沼田のオープンがきっかけとなり、路線価が上昇するほど周辺の活性化が図られることを期待して発言しました。

Qテラス沼田、(仮称)利南運動広場の野球場、新給食センターなど新しく建設される公共施設の維持管理費をどのように見積もっているのでしょうか。

A現在整備中の施設については、規模や機能の面から維持、管理に要する経費は大きなものにな

ると見込んでいますが、最適な維持、管理の実現に向け引き続き検討を行いながら、最終的な経費を算出していきたいと考えています。

Q「沼高、沼女の統合を進めるよう知事、県教委に意見書を提出する請願」が議会に提出されました。市長の見解を伺います。

A市議会における意見や議論について注視していきたいと考えています。

Q利根商高の校名変更について副理事長としての考えは。

A沼田市長の立場としては「みなかみ高校」は、利根沼田学校組合立の高校名として違和感を感じています。



改修中のテラス沼田

2期目の市政発展、運営責任と抱負

星野 佐善太

Q「安心、安全 人にやさしい福祉のまちづくり」について伺います。

Aすべての市民が障がいの有無にかかわらず、安心して暮らし地域社会の実現に向け、地域福祉の向上に取り組みたいです。今後も、子どもから高齢者までが生涯にわたり健康で、生きがいを感じながら暮らし続けられるまちづくりを推進していきたいと考えています。

Q「地域産業の振興」「農林業の活性化・ブランド化」について伺います。

A地域産業の振興施策としては、商工業団体や商工業者との連携をはじめ、地域経済発展への幅広い支援を行っています。

農林業の活性化・ブランド化については、ぬまブランド農産物認証制度の認証品の周知を行うとともにさらなる販路の開拓に向けた支援を進めていきたいと考えています。林業の活性化施策については、安定した素

材生産体制の整備・強化に努めるとともに、森林資源の有効活用について検討していきたいと考えています。

Q中心市街地まちづくり事業の進捗状況と今後の取り組みについて伺います。

A平成29年度末の事業費ベースの進捗率は50・3パーセントです。今後は2街区の建物移転完了に向けた事業進捗を図るとともに、仮換地未指定の街区において早期に合意形成が図れるよう、引き続き事業推進を図っていききたいと考えています。

※その他の質問
スマートウェルネスシティぬまた、観光振興の推進、女性の参画の拡大

沼田ブランド農産物
認証マーク

市政を問う!!

道路整備で市民の安全を・景観条例の策定を

井之川 博幸

Q都市計画道路の計画変更に伴い、計画廃止路線と重なり、整備が遅れていた既存道路の整備について、まず、恩田井土上線と重なっていた市道19号恩田線の今後の整備について伺います。

A緊急性や優先度、財政状況を勘案し、計画的な整備を実施したいと考えています。

Q金剛橋の建設後の年数と今後の整備計画について伺います。

A金剛橋は59年、歩道橋部は39年が経過し、計画的な整備を実施したいと考えています。

Q沼田真庭線と重なっていた市道諸路線の整備について

A通行上不都合が生じている箇所が多くあることは認識しており、計画的な整備を実施したいと考えています。

Q存続となった路線の国・県関係、市関係の事業について

A沼田バイパス線、国道17号線、沼田日光線、沼田停車場線は、国・県の動向を注視しながら対応したいと考えています。市関

係は、環状線、材木町柳町線、沼田中央線を存続し、事業化に努力したいと考えています。

Q市民や観光客にやすらぎを与える場とするための城堀川の整備について伺います。

A現在のところ整備計画はありませんが、今後、整備・改修を行う際には、治水面での安全性を保ちながら、自然生態系も壊さず景観に配慮した多自然型護岸工事等の手法を進めたいと考えています。

Q沼田市文化の継承として、また、観光客誘致にも役立つ良好な景観の形成と保全を目的とした景観条例の策定について

A市民要望等を踏まえながら、検討したいと考えています。



城堀川

街なか再生事業の今後・公共施設管理のあり方

高柳 勝巳

Q「やさしさの核」を含めた計画変更の検討内容について伺います。

A基本計画にある「公共交通の拠点整備」・「街なか居住の推進」・「医療機能の整備」の3つの整備方針について、関係各課や活性化の会等と協議、検討を進めているところです。今後は、庁舎等複合施設として整備されるテラス沼田や文化財施設が集約整備される「にぎわいの核」の状況及び市庁舎の跡地利用の状況などを踏まえながら、「やさしさの核」に予定している土地の活用については、検討していく考えです。

Q「日常生活を支援する街なか」を目標にしたまちづくりの検討について伺います。

A今後は、「にぎわいの核」におけるハード事業の整備が進捗したことから、周辺住民の皆さんの日常における利便性の向上を図れるよう、ソフト事業の検討を進めていく考えです。

Qテラス沼田、(仮称)利南運動広場の管理運営費用の試算と運営方法について伺います。

Aこれらの施設については、本市施設の中でも大規模ですが、それゆえ最適な維持・管理の実現に向け引き続き検討を行いながら、最終的な経費を算出していく考えです。いずれにしましても、それぞれの施設がポテンシャルを最大限発揮し、より良い施設運営となるよう引き続き検討していく考えです。



整備が進む「にぎわいの核」周辺

行政調査

報告書

沼田市議会では、毎年、委員会ごとに先進自治体等の行政調査を実施しています。
今回は、総務文教常任委員会の概要を掲載します。

総務文教常任委員会

平成30年1月29日～31日、岩手県釜石市、遠野市、北上市、一関市を調査しました。

釜石市では、**防災教育**について、「釜石市津波防災教育のための手引き」発行までの経過と活用方法、携わる教員のスキルアップ、学校が行っている防災教育の具体的事例などについて調査。また、**ラグビーワールド**



釜石市スタジアム建設現場を視察

沼田市議会では、毎年、委員会ごとに先進自治体等の行政調査を実施しています。
今回は、総務文教常任委員会の概要を掲載します。

カップの誘致について、「世界レベルの大会開催における組織体制」「市民周知と市民参画」など、誘致イベントの確かな運営と本市の発展につながるものになるよう調査を行いました。

遠野市では、**総合食育センター**について調査。新沼田市学校給食センターにおける安全で安心な学校給食の提供と、今後の人口減少を踏まえて市民全体で有効的かつ多目的に活用できるようノウハウを学びました。

北上市では、**定住自立圏構想**について調査。北上市と奥州市の両市が中心市宣言を行う「複眼型中心市」という形態をとっていました。

一関市は、平泉町とごみ処理や介護保険などで連携していましたが、合併には至らなかった地域です。**定住自立圏構想**により、連携して取り組む事業を従来より意識、取り組みが効果的



一関市で定住自立圏構想について調査

になり、さらに国の財政措置で財政負担が軽減されています。また、**国体フェンシング会場**であった一関総合体育館について、ドイツフェンシングチームの事前合宿と2028年「群馬国体」のフェンシング大会の運営ノウハウ、青少年の健全育成、高齢者の健康保持など市民全体に恩恵のある総合スポーツの拠点施設を調査しました。

平成30年 第3回定例会の日程

平成30年第3回定例会は、6月7日(金)からの予定です。ぜひ傍聴にお越しくください。

編集後記

例年より早く桜が咲き、6月に梅雨が明けるといふ異常気象つづきとなりましたが、沼田市が最も熱くなる「沼田まつり」がいよいよ目前となりました。

懐かしき故郷のお囃子の音色、勇壮な神社神輿やまち神輿、天狗神輿の渡御などこれぞ沼田といえる3日間です。今年はどうな熱き物語を、市民が一体となって描くのかワクワクです。

沼田まつりの熱さが冷めやらぬうちに、広島・長崎の原爆記念日となります。戦争は、人の命もささやかな幸せも奪い去ってしまいます。二度とこうした不幸をくり返してはなりません。

市議会では、様々な角度から市政をチェックし、一人ひとりの議員が沼田市発展への提案を行っています。

親しみのある「市議会だより」の充実に取り組みます。
編集副委員長 大東 宣之

議会だより編集委員会

委員長 井上 弘
副委員長 大東 宣之

委員 茂木 清七
中村 浩二
星野 妙子
久保 健二